

大阪府介護生産性向上支援センター
伴走支援プログラムDAY 5（成果報告）

介護ロボット導入による働きやすい職場作りの取り組み報告

2025年 3月11日

【事業所名】 介護老人保健施設ウエルハウス協和

01 事業所概要

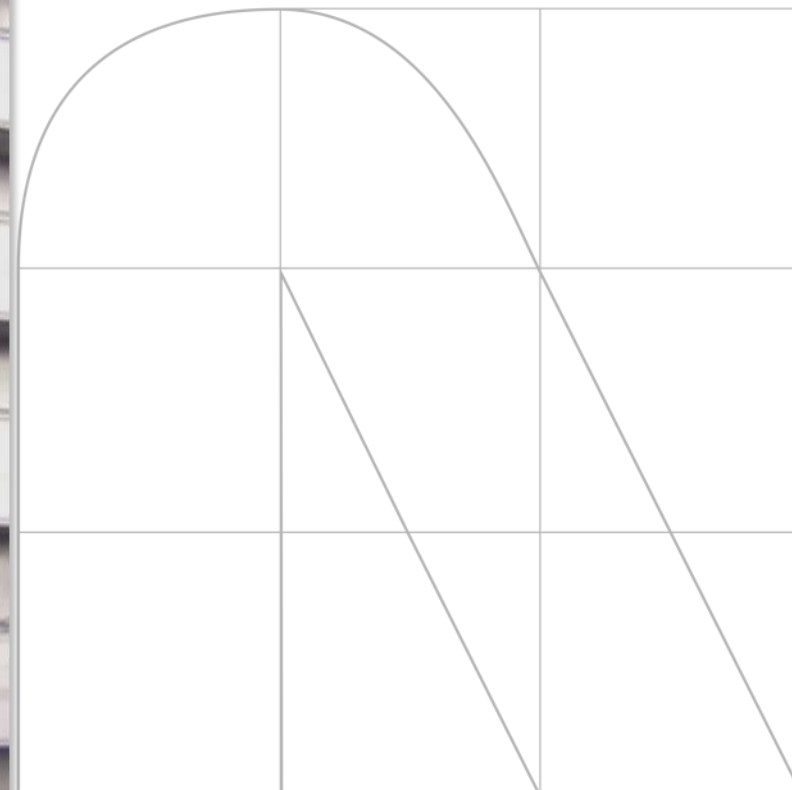
02 取組概要・流れ

03 取組結果・成果

04 取組のまとめ

01

事業所概要



01 事業所概要

【施設概要】

法人名：医療法人協和会

事業所名：介護老人保健施設ウエルハウス協和（ISO9001：2015認証取得）

開設年月：1997年10月

所在地：吹田市岸部北1丁目24番2号

【事業内容】

サービス：介護老人保健施設（入所）（予防）通所リハビリテーション
短期入所療養介護（ショート）（予防）訪問リハビリテーション

入所定員：136床（一般棟102床、認知症専門棟34床）

通所定員：50名（予防含む）

01 事業所概要

【職員状況】

医師	：	2名
看護職	：	21名
介護福祉士	：	53名
介護職	：	10名
介護助手	：	3名
理学療法士	：	8名
作業療法士	：	2名
言語聴覚士	：	2名
管理栄養士	：	3名
支援相談員	：	4名
ケアマネジャー	：	2名
事務職員	：	12名
合計	：	122名

(2025年4月現在)

【フロアマップ】

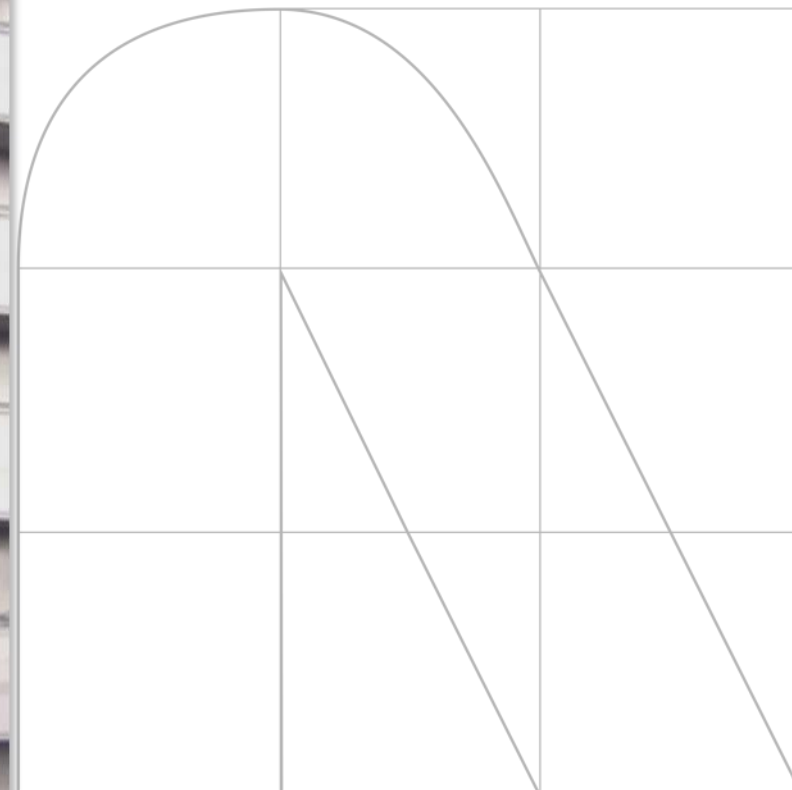


【フロア平面図】

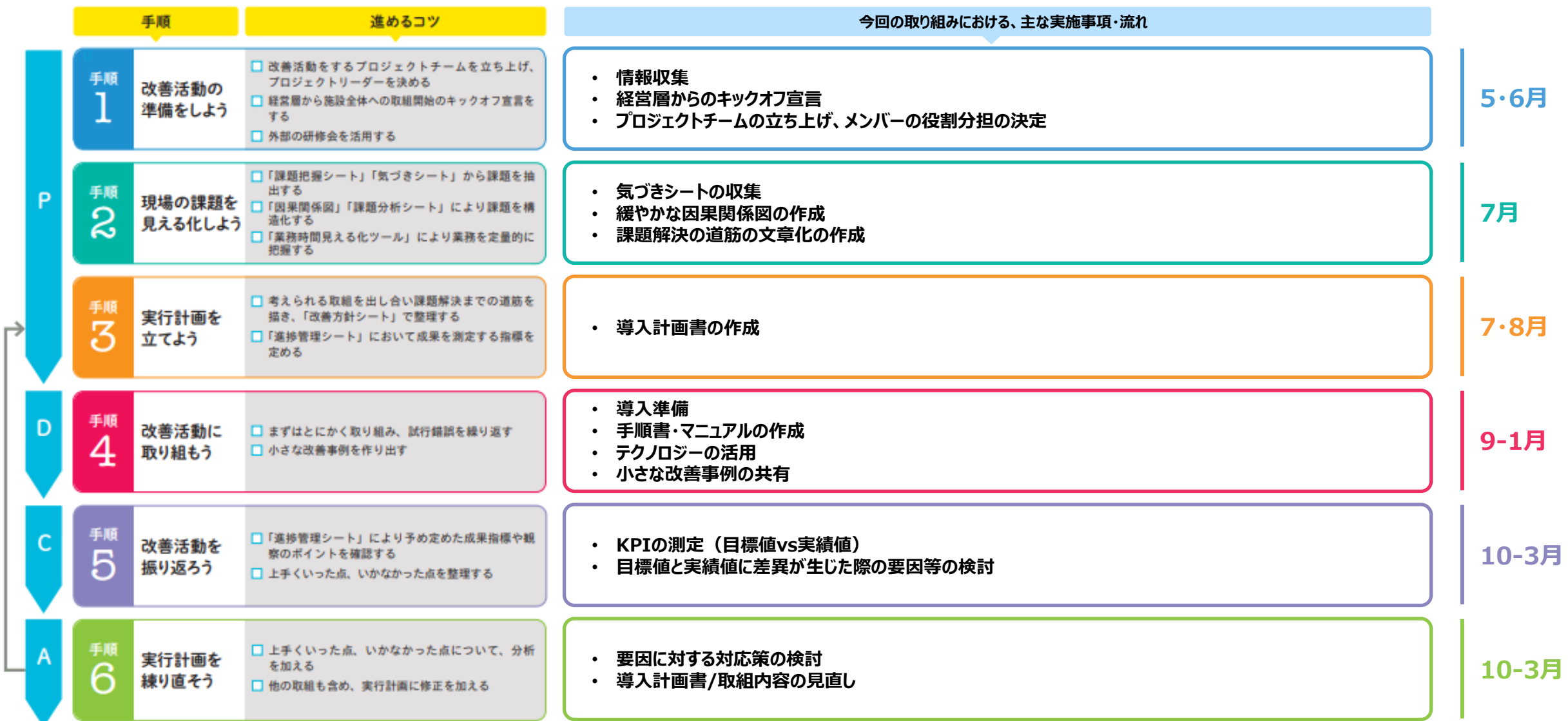


02

取組概要・流れ

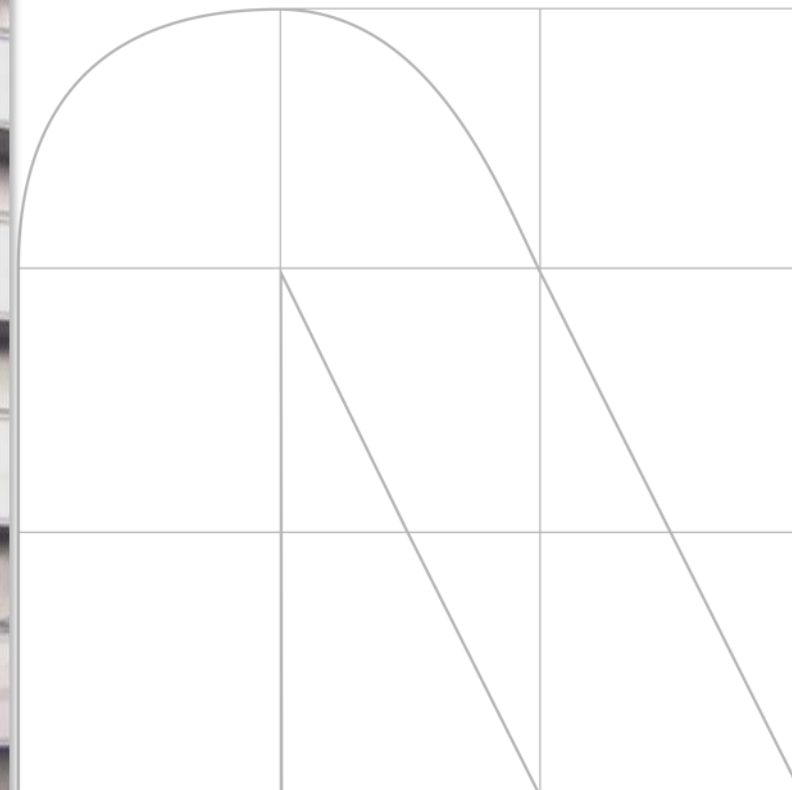


02 取組概要・流れ



03

取組結果・成果



03 取組結果・成果

【手順1】改善活動の準備をしよう

■「キックオフ宣言」

ウエルハウス協和
業務改善委員会

キックオフ宣言

介護の
生産性向上活動

介護分野における生産性向上に向けた活動を行い、
業務の「ムリ・ムラ・ムダ」をなくすことにより
働きやすい職場環境と介護サービスの質向上
を目指します。

4つの目標

業務の効率化
日常業務を見直し、介護ロボット・ICT技術などを活用することで、
時間と労力を削減します。

介護サービスの質の向上
スタッフの業務負担を軽減することで、利用者一人ひとりに向き合う
時間を増やし、より質の高いケアを提供します。

チームワークの強化
全スタッフが協力し合い、情報共有とコミュニケーションを円滑に行うこと
で、業務の無駄をなくし、チームとしての生産性を高めます。

働きやすい職場環境の実現
スタッフの働きやすさを追求し、健康とモチベーションを保ちながら
生き生きと働くことができる職場環境を目指します。

■「プロジェクトチーム発足」

職種・役職	役割
療養部長	調査・リスク検討・運用ルール・マニュアル担当
事務長	プロジェクトリーダー・調査・技術・事務担当
介護課長	調査・技術・運用ルール・研修担当
看護・介護主任	リスク検討・運用ルール・研修・マニュアル担当
リハビリ科科長	技術・運用ルール・研修・マニュアル担当
◆開催日時：	毎月第1火曜日・第3月曜日 14：00～15：00
◆開催場所：	6階会議室

- ✓ ナースコール対応がしんどい
- ✓ シフトの固定化
- ✓ 建物が細長い
- ✓ シフトが組みにくい
- ✓ 介護度があがった
- ✓ Wi-Fiが繋がらない
- ✓ コロナの影響で研修が減少
- ✓ 事務作業が多い
- ✓ センサーが多く対応ができない

- マンパワー不足
- 転倒・転落発生
- 入浴に多くの時間を要する

■「課題解決の道筋づけ支援シート」

深堀原因

利用者 1 人のセンサー・Nsコールに複数職員が対応すること に対し、

介護ロボットの
種類

インカム・見守り支援機器 を導入することにより

好転換された
深堀原因

複数職員の同時訪室が少なく なり、

原因

常に付き添わなければならない利用者がある という問題が解消・軽減され

結果

見守りしながら記録を取ること がなくなり、

悪影響

マンパワー不足 の改善が期待できる。

03 取組結果・成果

【手順3】実行計画を立てよう

■「介護ロボット・ICT導入計画」

I 本プロジェクトの目的(施設として目指す姿)

介護ロボット・ICT等を導入することにより、マンパワー不足によるスタッフの心身の負担軽減により介護サービスの質の向上を目指す。またスタッフの働きやすい職場づくり・永く働ける職場環境づくりを目指す。

II 現場課題と解決の道筋(課題の見える化による検討結果)

利用者ひとりのセンサー・Nsコールに複数職員が行くことに対し、インカム・見守り支援機器を導入することにより複数職員の同時訪室が少なくなり、常に付き添っていないといけない利用者がいるという問題が解消・軽減され見守りしながら記録を取ることがなくなり、マンパワー不足の改善が期待できる。

III 導入する介護ロボット・ICT

種類	製品名	台数(セット数)	合計額※	導入予定場所
Wi-Fi設置工事 インカムシステム 見守りセンサー	Wi-Fi設置工事 インカムアプリ 見守りLIFE	30台 136台	10,000千円 12,000千円	全館 各フロア 各居室

IV 介護ロボット・ICT等導入成果を測るKPI(成果指標)

KPIを設定する文節 (II 現場課題と解決の道筋から引用してください)	設定したKPI	KPIの測定方法	KPIの測定ピッチ
1 複数職員の同時訪室が少なくなり、	同時訪室回数	訪室回数のカウント	毎日
2 常に付き添っていないといけない利用者がいるという問題が解消・軽減	直接ケア時間	タイムスタディで測定	一週間
3 マンパワー不足の改善が期待できる	レクの回数	レク実施回数のカウント	一週間
4 マンパワー不足の改善が期待できる	残業時間	タイムカードの打刻時間	一月

V 介護ロボット・ICT等導入と同時に行う改善取組

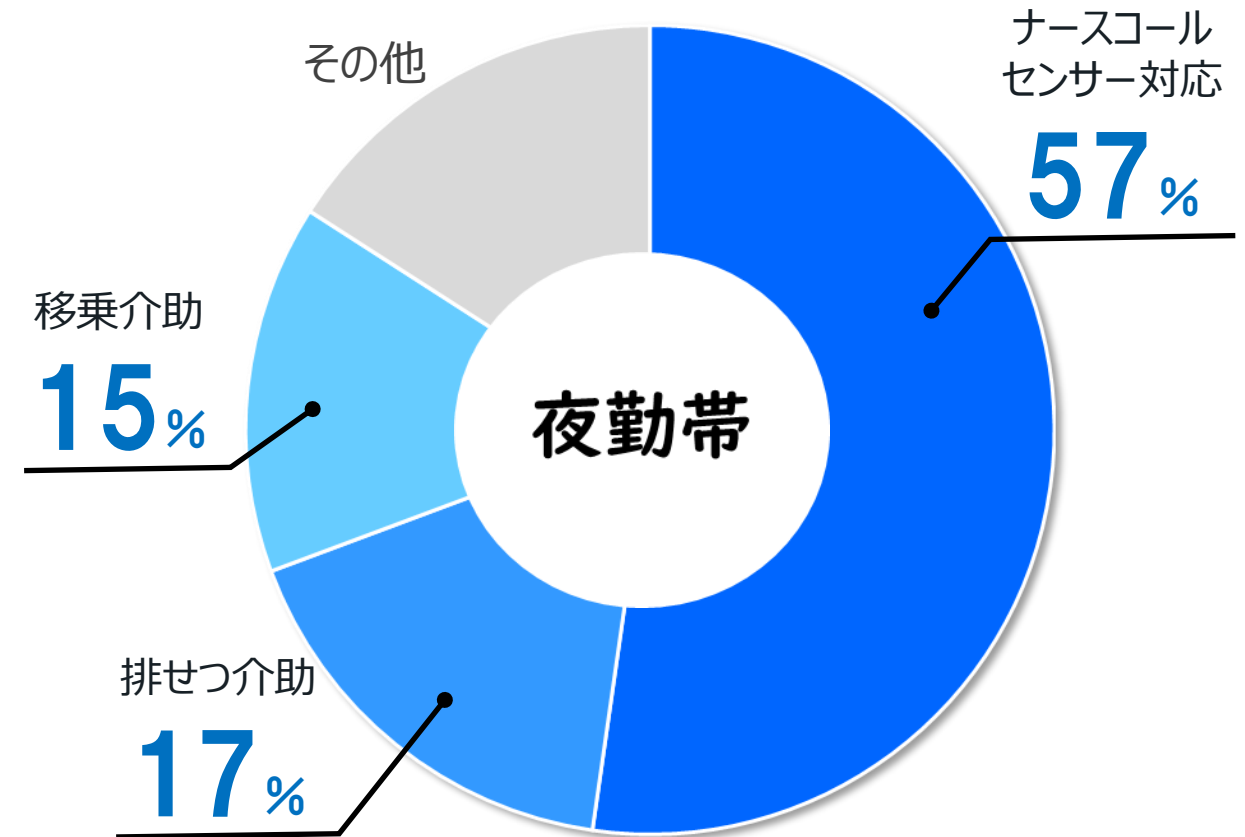
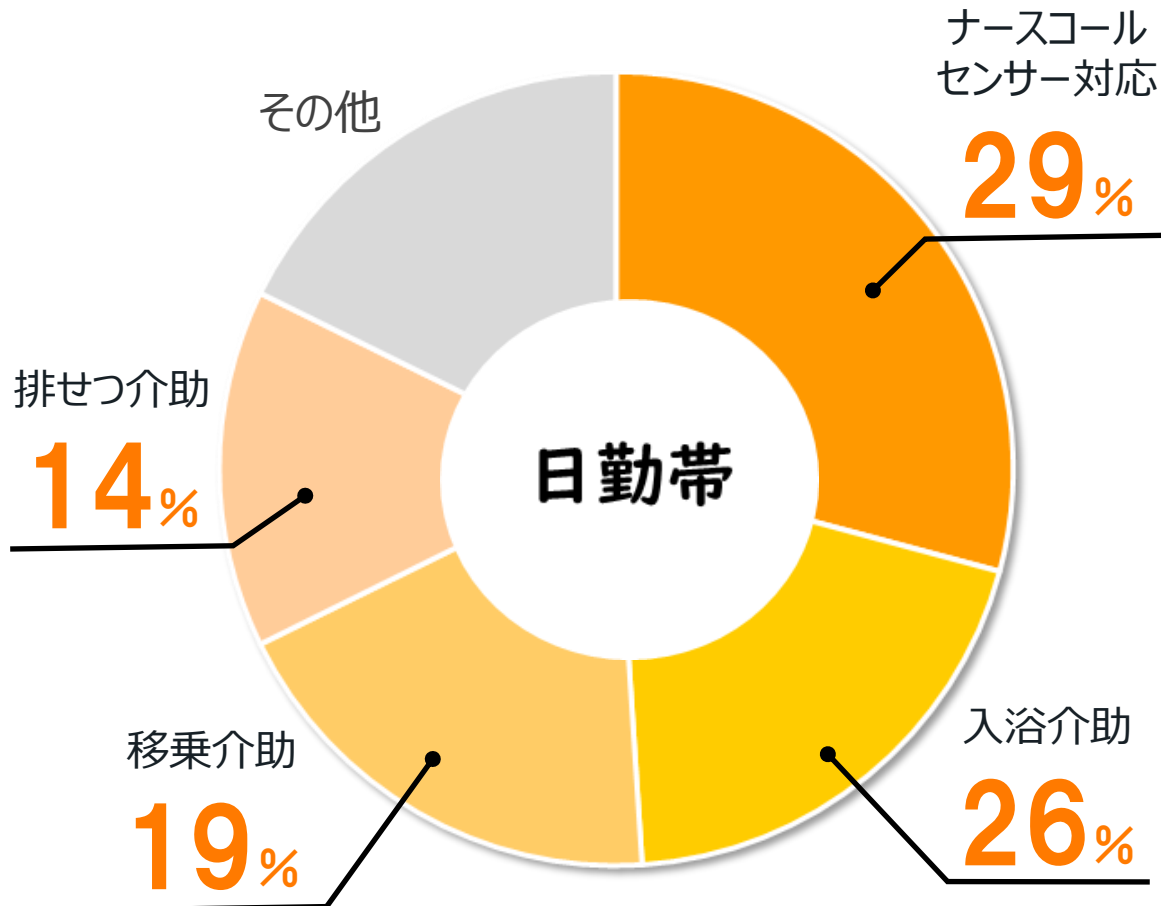
同時に行う改善取組 (課題の打ち手となる生産性向上の取組)	具体的内容 ※改善取組の具体的な内容を記載してください。
1 職場環境の整備	・Wi-Fi環境の整備 ・見守りカメラの設置位置の確保 ・タブレット、インカム等の充電場所の確保(ステーションの改修)
2 業務の明確化と役割分担 (1)業務全体の流れの再構築	・利用者ごとの見守り機器の設定 ・カメラ機能使用について家族の同意確認 ・タイムスタディの作成
3 手順書の作成	使用する職員全員が理解できるよう分かりやすい機器マニュアルを作成
4 記録・報告様式の工夫	センサーから得られた情報をどの箇所に入力するのか決める
5 情報共有の工夫	・すぐにスマートフォン等で確認できるようなマニュアルを作成する
6 OJTの仕組みづくり	導入機器の使用方法についてプロジェクトメンバーが他職員にOJTで伝達できるような業務体制にする
7 理念・行動指針の徹底	プロジェクトメンバーから全職員に対して、今回のインカムと見守りセンサー導入についての背景や意義、導入することでどのような施設を目指していくのかを説明する

03 取組結果・成果

【手順4】改善活動に取り組もう ～導入準備～

■「職員アンケート実施」

『身体的負担を感じる業務は？』（複数回答可）



03 取組結果・成果

【手順4】改善活動に取り組もう ～導入準備～

■ KPI測定（万歩計）

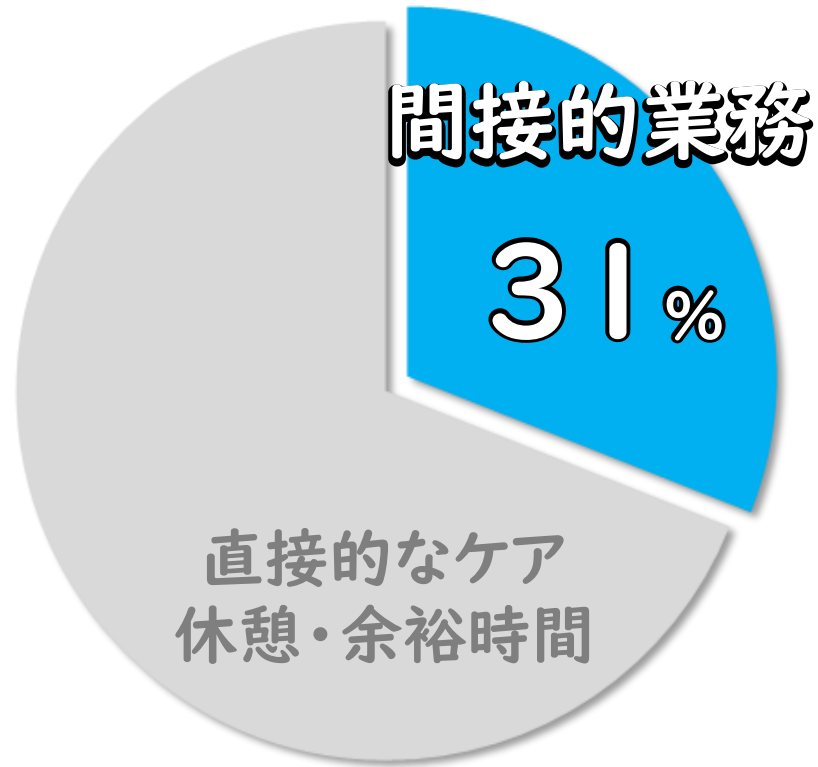
勤務中は万歩計をつけ、勤務終了時の万歩計の数値を記入してください

日付	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17
入浴・行事							
	勤務記号 歩数	勤務記号 歩数	勤務記号 歩数	勤務記号 歩数	勤務記号 歩数	勤務記号 歩数	勤務記号 歩数
		明 26625			○ 16,553		入 2130 13153
B	15572	B 10691		C 13033		○ 8535	○ 14989
日	12358		明 25050			R 9218	
		B 9336					
日	12661		明 12728			入 4074	
遅	13280		明				
		N/Y 8150				○ 11269	○ 14115
日	12325	○ 12484				明 13590	N 3235
遅	14270	▽ 15298				▽ 18889	▽ 17104
		明 23591					
明	30191						明 24106
日	23492					明 20635	
							明 22389
						△ 17984	
日	17650	早 18898				▽ 17492	
		▽ 14914	▽ 17852			○ 18059	▽ 17157
		日 22615 15434	←	日 10680			○ 15987
話	9250					9614 ○ 9614	○ 14588
			N/ 4724			入 9474	N/ 8553
遅	9352		日 2806				日 5489

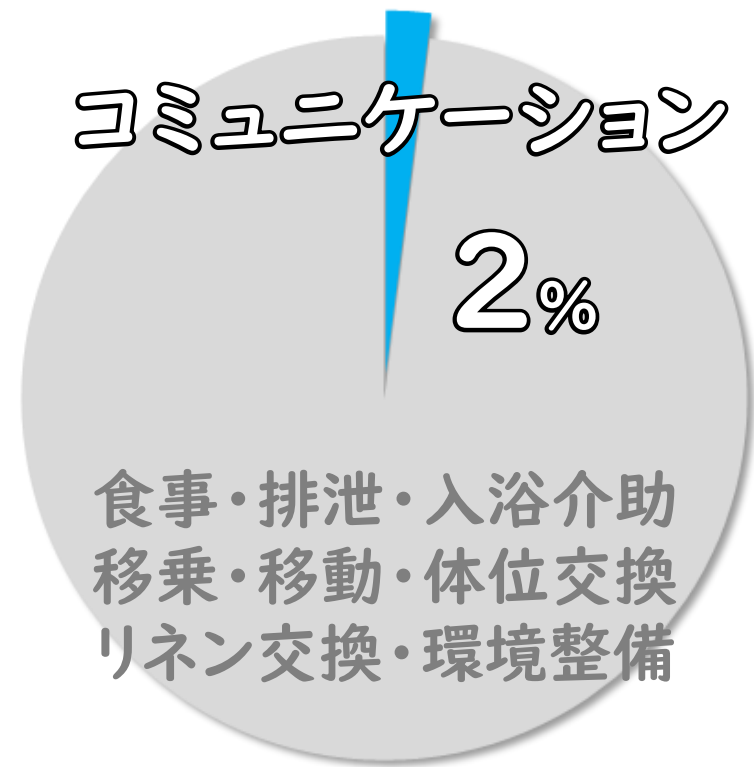
計測結果

概ね 1万歩以上

■ タイムスタディ実施



間接業務が業務の約 **1/3** を占める
(入浴の衣類の準備・環境整備・ゴミ捨て等)



利用者とのコミュニケーションは全体の **2%**
(利用者とのレクリエーション含む)

03 取組結果・成果

【手順4】改善活動に取り組もう ～テクノロジーの活用～

■「見守り機器の比較検討」



検知スピード	○	○	△	×
検知種類	○	△	△	△
カメラ機能	○	△	△	×
体重測定	○	×	×	×

03 取組結果・成果

【手順4】改善活動に取り組もう ～手順書・マニュアルの作成～

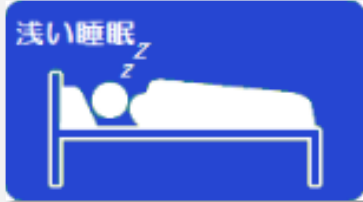
■「利用者状態別アラート設定」

【利用者様情報】												
No	フロア	部屋番号	利用者名	生年月日	性別	身長 (任意)	体重	アラート設定① (通知タイミング)	アラート設定② (ベッド戻り通知)	バイタルセンサ取付	カメラ取付	備考欄 (設置に優先順位等、ございましたらご記入ください)
例	1F	101	大阪 太郎	2022/6/14	男	145.0cm	40.5kg	起き上がり	ベッド戻り通知あり	●	●	設置の際は、職員へ声をかけてください
1	3F	301	A	1936年11月20日	男	164.4cm	57.0kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし			
2	3F	302	B	1976年5月13日	女	168.0cm	60.2kg		ベッド戻り通知なし			
3	3F	303	C	1939年10月5日	女	146.6cm	39.6kg		ベッド戻り通知なし			
4	3F	305	D	1944年7月17日	男	163.5cm	57.6kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし			
5	3F	306	E	1956年8月5日	男	167.0cm	55.8kg		ベッド戻り通知なし			
6	3F	306	F	1938年12月10日	男	160.2cm	46.2kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし		●	
7	3F	306	G	1942年4月22日	男	158.0cm	44.7kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし		●	
8	3F	306	H	1940年10月3日	男	168.0cm	48.5kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし			
9	3F	307	I	1947年11月21日	男	156.0cm	49.5kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし			
10	3F	307	J	1950年12月9日	男	154.0cm	42.7kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし			
11	3F	307	K	1936年4月27日	男	151.0cm	42.9kg	端座位	ベッド戻り通知なし		●	
12	3F	307	L	1937年2月24日	男	168.0cm	59.5kg		ベッド戻り通知なし			
13	3F	308	M	1942年1月21日	男	160.0cm	43.0kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし			
14	3F	308	N	1939年11月25日	男	169.0cm	50.8kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし			
15	3F	308	O	1937年2月26日	男	168.0cm	61.7kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし			
16	3F	308	P	1949年8月29日	男	166.0cm	56.1kg	動き出し	ベッド戻り通知なし			
17	3F	310	Q	1947年8月21日	女	147.0cm	43.2kg		ベッド戻り通知なし			
18	3F	310	R	1931年10月1日	女	156.0cm	47.9kg		ベッド戻り通知なし			
19	3F	310	S	1926年5月24日	女	136.0cm	41.5kg	起き上がり	ベッド戻り通知なし			
20	3F	310	T	1953年3月6日	女	140.5cm	36.3kg		ベッド戻り通知なし			

アラート（通知タイミング）



睡眠状態（巡視判断）



■「見守り機器導入案内・カメラ設置同意書」

令和 7 年 1 月 吉日

ご利用者・ご家族様

見守り機器導入についてお知らせ

いつも当施設をご利用いただきありがとうございます。
令和 7 年 2 月より、『令和 6 年度 大阪府介護ロボット導入支援事業』として大阪府のご担当者指導の元、伴走支援プログラムを活用し、慢性的な人材不足といった課題に ICT 機器を導入することで介護サービスの質の向上を目指します。
そこで各居室に見守りセンサーを下記の通り導入する運びとなりました。

記

・見守り機器：見守りライフ（トーテックアミニティ社製）

・目的と効果：見守りセンサーによる利用者様の安眠の確保

素早い通知・カメラによる転倒・転落事故の減少

職員の心身の負担軽減

・内 容：ベッドに荷重センサーを設置し起き上がり等利用者様の状態に応じてスタッフへ通知

※カメラについては個別にご相談しご本人・ご家族様ご同意の上、設置いたします。
カメラは危険予兆動作を検知した際に記録し常時録画するものではありません。

以上

また見守り機器設置に際し、追加料金等は発生いたしません。

ご不明な点等ございましたら 1 階事務所までお問合せください。

介護老人保健施設ウエルハウス協和
TEL：06-6339-0616（代）

いまのベッドにとりつけるだけ

見守りライフ
人×機器=さらなる安全・安心へ

見守りライフは、介護ベッドにとりつけるだけで
入居者様のベッド上での姿勢や動き、離床を検知するシステムです

見守りライフの主な特徴

状態表示
入居者様の状態をリアルタイムかつ、ピクトグラムで分かりやすく表示します。
離床につながらず先行動作を検知し、施設職員が持つパソコンやスマホ・タブレットなどの端末に素早く通知します。転倒・転落事故の防止に活用いただけます。

体重測定機能
入居者様がベッドに寝ている状態で体重測定が可能です。移動することなく測定できるため、身体への負担を最小限に抑えられます。また、病室に体重を測定できるため、入居者様の健康状態の把握にも役立ちます。

データの可視化
センサーから取得したデータは1分ごとに記録され、グラフや数値で確認できます。
在床・離床などの状態や、睡眠の深さが記録されるため、入居者様の生活リズムはもちろん、睡眠の質も可視化されます。これらのデータを参考に、ケアプランの見直しや褥瘡対策などに活用頂けます。

バイタルセンサー
入居者様の「心拍数」「呼吸数」を1分ごとに測定します。バイタル値に異常があった際は、職員が持つ端末に通知します。
入居者様の体調の変化にいち早く気づき、対応することが可能です。

温度湿度センサー
居室内の「温度」「湿度」を表示します。設定した値を超えると、職員が持つ端末に通知します。夏季の熱中症対策や冬季の乾燥による感染症対策などにもご活用いただけます。

カメラ連携
IPカメラを連携することで、居室の様子を映像で確認できます。映像は施設のネットワークからのみ確認可能で、外部からはアクセスできません。また、プライバシーに配慮し、顔にマスキングをかける機能もございます。映像の録画が可能なため、万が一の転倒・転落事故の分析にもご活用いただけます。

全国
520 施設
8,200 名以上
導入済み

機器の詳細はこちら
<https://www.totec-milife.jp>

見守りライフ

介護老人保健施設ウエルハウス協和
施設長 様

見守りカメラセンサー設置使用にかかる同意書

見守りカメラセンサーは、御利用者の動きを動画で判別することによってプライバシーに配慮しながら、「動き出し」「起き上がり」「端座位」「離床」を危険予兆動作とし、職員に通知します。

<製品の使用目的について>

- ・危険予兆動作を検知した際に画像を職員に転送します。
- ・転倒、転倒事故時には記録画像を確認し、迅速かつ的確な処置に繋がります。
- ・検知した危険予兆動作記録画像から再発防止に繋がります。

<セキュリティ及び御配慮について>

- ・施設の外部へ記録画像の持ち出しは行いません。
- ・施設の外部から記録画像等を見る事ができません。
- ・御利用者の生活状況（睡眠、着替え等）に配慮し訪室することができます。

<御了承事項>

- ・本製品は御利用者の危険状態を完全に防ぐことを保証することができません。
- ・検知通知を受けた場合でも職員の駆けつけをお約束するものではありません。
- ・当施設の判断で優先度の高い方へ使用を変更させて頂くことがあります。
- ・御利用者、御家族の許可なく設置、使用はしません。

上記内容について理解し、見守りカメラセンサー設置及び使用について同意します。

年 月 日 署名 (続柄)

■「その他テクノロジーの検討」

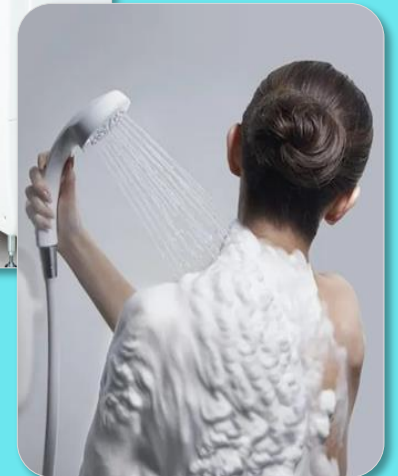
移乗介助
軽減



レク機会
増加



入浴介助
軽減



■「小さな改善事例（労働環境改善）」



- ・ 滑りにくくなった
- ・ 見た目が明るい
- ・ 足が冷たくなならない



改善後



- ・ 掃除が楽になった
- ・ 滑る不安が減った
- ・ 足が冷たくなならない



■「小さな改善事例（労働環境改善）」

泡で出てくる
シャワーヘッド

KINUAMI U

絹浴み [結]



- ・細かい泡で拘縮箇所の匂いがしなくなった
- ・かがんで足を洗わなくてもよく負担が軽減した
- ・保湿・保温効果を得る事ができる
- ・泡に包まれることで利用者さんより喜びの声が聞かれるようになった

- ・寝たまま入浴ができ負担が少なく、清潔が保たれる
- ・利用者さんが温かく気持ちよく入浴できる
- ・利用者さんより「入浴が楽しみ」と言った声が聞かれる
- ・入浴効果で覚醒状態となりリハビリも積極的に参加
- ・電動ストレッチャーでスタッフの腰痛負担激減

ミストシャワーバス



■「タスクシフト（介護助手の導入）」

大阪府

令和6年度 介護助手導入支援事業のご案内

対象：大阪府域の介護保険施設、地域密着型特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム、特定施設入居者生活介護

参加費 無料

なかなか即戦力の採用ができない
職員の育成がじっくりできない
人員不足で現場が疲弊している

そんな悩みをお持ちの介護事業者様、介護助手を導入してみませんか？

介護助手ってなに？ 周辺業務を行い介護職員をサポートするスタッフです。

介護助手の業務例

食事の配膳や下膳業務 リネンの交換などの環境整備 清掃・片付け業務 見守り・話し相手

どんなメリットがあるの？

- ◆施設にとって
 - ・職員の業務にゆとりが生じ、職場環境が改善される。
 - ・見守りの目が増え、利用者の方のリスク軽減につながる。
- ◆介護職員にとって
 - ・業務が軽減され、専門性を活かした介護の実践ができる。
 - ・利用者の方に関わる時間が多く持てるようになる。
- ◆利用者にとって
 - ・より丁寧な介護を受ける事ができ満足度が上がる。
 - ・ニーズに応じた介護を受けることができる。

大阪府事業に参加し、導入からマッチングまでを**無料**でサポート！

求職者説明会＆合同就職説明会を府内9か所で開催 詳細は裏面へ

お問合せ：03-6803-5624（受託者：セントスタッフ株式会社）

実施主体：大阪府福祉部 地域福祉推進室 福祉人材・法人指導課 人材確保グループ

お申込みはこちらから <https://forms.gle/qUyYiZBNz5U4zXs26> またはこちら

【主催】ハローワーク淀川・吹田市

参加無料 --福祉のお仕事--

吹田市 就職面接会

資格不問 未経験OK の求人もあります

正社員 正社員以外 パート求人 あります！

日時 令和7年 2月14日(金) 13:00～16:00 (受付 12:45～15:30)

会場 千里市民センター 大ホール 吹田市津雲台1-2-1 千里ニュータウンプラザ内 (阪急南千里駅下車西側すぐ)

参加事業所 8社 求人●件

◆参加事業所は、裏面の求人一覧をご覧ください。
◆求人内容の詳細は、最寄りのハローワーク・ハローワークインターネットサービスなどで求人票をご確認ください。

申込方法

応募したい求人が決まっている場合、最寄りのハローワークで紹介状をもらい、当日ご持参ください。なお、面接は当日先着順です。

持ち物

面接希望の場合は
●履歴書等（応募社数分）
●紹介状
※説明を聞くだけでも可（持ち物不要）

最悪を聞くだけでもOK!

ハローワーク淀川 インターネットサービス ハローワーク淀川 ホームページ

ハローワーク淀川（職業相談部門）
〒532-0024 大阪市淀川区十三本町3-4-11
【TEL】06-6302-4771(41#)

元気な高齢者の皆さん！

地域の高齢社会を支える 介護助手 になってみませんか？

介護助手って？

仕事は介護の周辺業務
介護の知識がなくても大丈夫
働く時間はあなた次第
年齢は60歳～75歳くらい
社会貢献ができる仕事です

Aさん（68歳） 週3日 早朝3時間
Bさん（72歳） 週3日 早朝4時間
Cさん（67歳） 週5日 午前～昼
Dさん（71歳） 週4日 昼～夕方
Eさん（79歳） 週5日 夕方3時間

高齢者でも働けるのがうれしい
体が動く限り働きたい
少しでも社会貢献できているかな
家事の延長だから難しい
利用者さんと話するのが楽しい

「介護助手」について詳しく解説した動画ができました。ぜひご覧ください！

アクティブシニア必見！
いま注目の「介護助手」とは？

YouTube 公式チャンネル

公益社団法人 全国老人保健施設協会

03 取組結果・成果

【手順5】改善活動を振り返ろう

■「タスクシフト（介護助手の導入）」

大阪府

令和6年度
介護助手導入支援事業
のご案内

参加費 無料

なかなか即戦力の採用ができない
職員の育成がじっくりできない
人員不足で現場が疲弊している

そんな悩みをお持ちの介護事業者様、介護助手を導入してみませんか？

介護助手ってなに？ 周辺業務を行い介護職員をサポートするスタッフです。

介護助手の業務例

どんなメリットがあるの？

◆施設にとって

- ・職員の業務にゆとりが生じ、職場環境が改善される。
- ・見守りの目が増え、利用者の方のリスク軽減につながる。

◆介護職員にとって

- ・業務が軽減され、専門性を活かした介護の実践ができる。
- ・利用者の方に関わる時間が多く持てるようになる。

◆利用者にとって

- ・より丁寧な介護を受ける事ができ満足度が上がる。
- ・ニーズに応じた介護を受けることができる。

大阪府事業に参加し、導入からマッチングまでを無料でサポート！

求職者説明会＆合同就職説明会を府内9か所で開催 詳細は裏面へ

お問合せ:03-6803-5624 (受託者:セントスタッフ株式会社)

実施主体:大阪府福祉部 地域福祉推進室 福祉人材・法人指導課 人材確保グループ

お申込みはこちらから <https://forms.gle/qUyYiZBNz5U4zXs26> またはこちら

介護周辺業務一覧表

図表 12 介護業務・周辺業務一覧

介護業務・周辺業務一覧		
<起床> 1.声掛け 2.体位交換 3.起居の介助 4.歩行の介助 5.車いす等への移乗の介助 6.車いす等の移動の介助 7.トイレ誘導 8.着替え 9.整容（洗面、整容等） 10.顔の清拭 11.義歯装着 <居室清掃> 12.換気 13.床掃除 14.トイレ清掃 15.シーツ交換・ベッドメイク 16.ゴミ捨て 17.物品補充 <食事（おやつ）> 18.机の上清掃 19.おしぼり配布 20.自動員等配布 21.トロミ付け 22.起居の介助 23.歩行の介助 24.車いす等への移乗の介助 25.車いす等の移動の介助 26.食事誘導 27.配膳 28.食事介助 29.食事量確認 30.服薬確認 31.配膳 32.下膳 33.自動員等洗浄 34.口腔ケア 35.義歯洗浄 <フロア・共有部洗浄> 36.換気 37.床掃除 38.トイレ清掃 39.手すり吹き 40.ゴミ捨て	41.物品補充・管理 42.お知らせ等の掲示物の管理 43.車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理 <入浴> 44.湯はり 45.浴室誘導 46.起居の介助 47.歩行の介助 48.車いす等への移乗の介助 49.車いす等の移動の介助 50.脱衣 51.手浴の介助 52.足浴の介助 53.入浴の介助 54.身体清拭 55.薬塗布 56.着衣 57.ドライヤーかけ 58.水分補給 59.誘導 60.浴室清掃 61.物品補充 <排泄> 62.声掛け 63.起居の介助 64.歩行の介助 65.車いす等への移乗の介助 66.車いす等の移動の介助 67.トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助 68.トイレ（ポータブル）清掃 69.おむつ交換 70.尿器・便器を用いた介助 <洗濯> 71.洗濯・乾燥 72.洗濯物のたたみ 73.洗濯物の返却・片付け 74.おしぼりづくり、セット <維持管理> 75.車両清掃 76.植栽管理（水やり） 77.備品チェック	<レクリエーション> 78.企画 79.準備（準備・レクリエーション変更） 80.誘導 81.起居の介助 82.歩行の介助 83.車いす等への移乗の介助 84.車いす等の移動の介助 85.進行（講師） 86.サポート 87.誘導 88.片付け <就寝介助> 89.トイレ誘導 90.着換え 91.翌日分着換え準備 <記録・申し送り> 92.食事や排泄等チェックリスト等による記録・報告 93.指示を受けた内容に対する報告 94.日誌やケアプラン等の記録および確認 95.申し送りによる情報共有 <その他> 96.車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理 97.見守り・コミュニケーション 98.機能訓練の補助や見守り 99.利用者特性に応じた対応（認知症、障害等） 100.緊急時・事故発生時の常勤職員の呼び出し 101.その他

介護助手採用活動

応募件数：10件

採用件数：6件

継続勤務：3件

ミスマッチの理由

- ✓ 思っていた業務と違う
- ✓ 大きな施設で業務が多忙
- ✓ 自信がなくなった

03 取組結果・成果

【手順5】改善活動を振り返ろう

■「介護ロボット（見守りライフ）導入状況」



03 取組結果・成果

【手順5】改善活動を振り返ろう

■「その他テクノロジーの検討」

移乗介助
軽減



導入見送りの理由

- ✓ 業務が多忙で準備が大変
- ✓ スライディングシートで足りた
- ✓ 保管場所がなかった
- ✓ ベッドサイドが狭い
- ✓ 補助金に余裕がなかった

03 取組結果・成果

【手順6】実行計画を練り直そう

■「介護ロボット・ICT導入計画」（練り直し版）

I 本プロジェクトの目的(施設として目指す姿)

介護ロボット・ICT等を導入することにより、マンパワー不足によるスタッフの心身の負担軽減により介護サービスの質の向上を目指す。またスタッフの働きやすい職場づくり・永く働ける職場環境づくりを目指す。

II 現場課題と解決の道筋(課題の見える化による検討結果)

利用者ひとりのセンサー・Nsコールに複数職員が行くことに対し、インカム・見守り支援機器を導入することにより複数職員の同時訪室が少なくなり、常に付き添っていないといけない利用者がいるという問題が解消・軽減され見守りしながら記録を取ることがなくなり、マンパワー不足の改善が期待できる。

III 導入する介護ロボット・ICT

種類	製品名	台数(セット数)	合計額※
Wi-Fi設置工事	Wi-Fi設置工事	30台	10,000千円
インカムシステム	インカムアプリ	136台	12,000千円
見守りセンサー	見守りLIFE		

IV 介護ロボット・ICT等導入成果を測るKPI(成果指標)

KPIを設定する文節 (II 現場課題と解決の道筋から引用してください)	設定したKPI	KPIの測定方法	KPIの測定ピッチ
1 複数職員の同時訪室が少なくなり、	同時訪室回数	訪室回数のカウント	毎日
2 常に付き添っていないといけない利用者があるという問題が解消・軽減	直接ケア時間	タイムスタディで測定	一週間
3 マンパワー不足の改善が期待できる	レクの回数	レク実施回数のカウント	一週間
4 マンパワー不足の改善が期待できる	残業時間	タイムカードの打刻時間	一月

I 本プロジェクトの目的(施設として目指す姿)

介護ロボット・ICT等を導入することにより、マンパワー不足によるスタッフの心身の負担軽減により介護サービスの質の向上を目指す。またスタッフの働きやすい職場づくり・永く働ける職場環境づくりを目指す。

II 現場課題と解決の道筋(課題の見える化による検討結果)

利用者ひとりのセンサー・Nsコールに職員が複数回行くことに対し、見守り支援機器を導入することにより**職員の unnecessary 訪室が少なくなり、部屋にいる利用者の安全確認を頻繁にするという問題が解消・軽減され、職員による複数回の訪室がなくなり、マンパワー不足の改善が期待できる。**

III 導入する介護ロボット・ICT

種類	製品名	台数(セット数)	合計額※	導入予定場所
Wi-Fi設置工事	Wi-Fi設置工事	1式	10,000千円	全館
インカムシステム	インカムアプリ	136台	12,000千円	各居室
見守りセンサー	見守りLIFE			

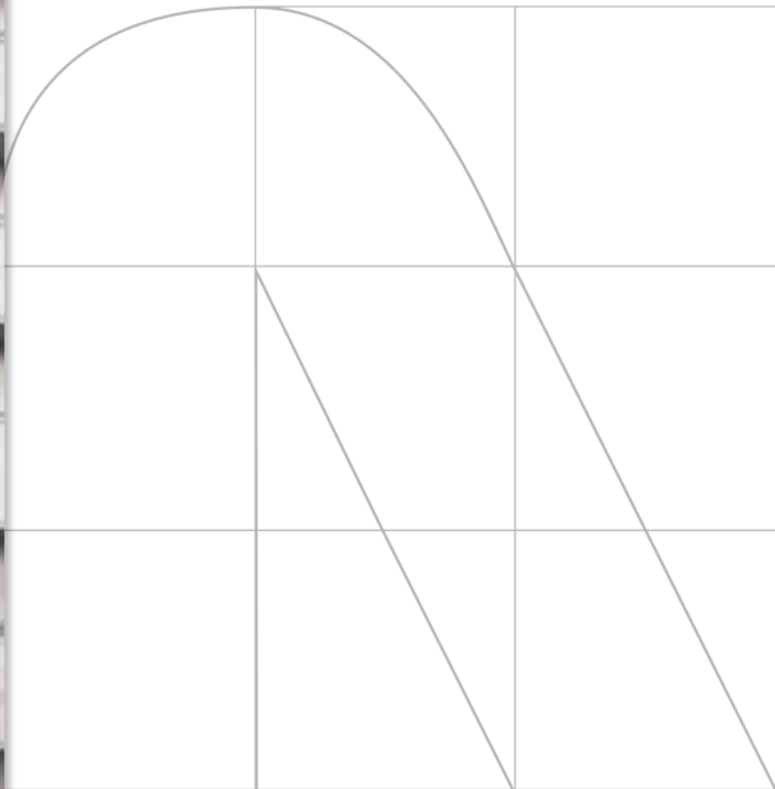
IV 介護ロボット・ICT等導入成果を測るKPI(成果指標)

KPIを設定する文節 (II 現場課題と解決の道筋から引用してください)	設定したKPI	KPIの測定方法	KPIの測定ピッチ
1 職員の訪室が少なくなり、	歩数(万歩計)	歩数のカウント	5日間
2 部屋にいる利用者の安全確認を頻繁にするという問題が解消・軽減	直接ケア時間	タイムスタディで測定	一週間
3 マンパワー不足の改善が期待できる	レクの回数	レク実施回数のカウント	一週間
4 マンパワー不足の改善が期待できる	残業時間	タイムカードの打刻時間	一月

実行計画
練り直し

04

取組のまとめ



04 取組のまとめ 職員/利用者からのコメント

良いサービスが
提供できるかも

スタッフN氏

スタッフがワクワク
できるかも

スタッフN氏

新しい機械買って
もらえるかも

スタッフN氏

腰が痛くなくな
った

スタッフK氏

勤務帯によって
温度差がある？

スタッフN氏

ベッドによって
使い勝手が違う

スタッフA氏

夜勤帯スタッフは
楽しみです。

スタッフU氏

利用者さんが安心
して入浴できる

スタッフK氏

使ってもらえるまで
時間がかかる

スタッフO氏

小さな改善活動の
話し合いが増えた

スタッフA氏

お風呂が気持ち
良すぎ

利用者

タイムスタディ・KPI
が面倒くさかった

スタッフ一同

■「プロジェクトを通じて得た学び・感じたこと」

- バリアフリー展などに参加し見守りライフやKINUAMIなど多くの福祉用具のデモを取り入れ施設全体で評価する機会が持てた
- デモを取り入れることで職員に生産性向上取り組みへの意識付けができた
- 法人内老健として生産性向上に取り組んだことでデモ機の情報共有ができた

■「今後の方針」

◇心理的安全性の高い職場環境を作る

普段のコミュニケーションを大切に
スタッフ一人一人の意見を尊重
ポジティブシンキングへの意識改革
チームとしてとりあえずやってみる

◇小さな改善活動の継続

◇利用者へのフィードバックを意識

◇研修への積極的参加・実施

◇積極的な広報活動

心理的安全性をつくる「4つの因子」

話しやすい

問題に気づいた時、率直に指摘し合える



話

助け合い

問題が起きた時、人を責めず、前向きに対処できる



助

挑

挑戦

前例がないものでも、取り入れることができる



新

新奇歓迎

個人の強みや個性を発揮できる環境がある



引用：石井 遼介著 『心理的安全性のつくりかた』



NTT DATA

株式会社NTTデータ経営研究所

Lighting the way
to a brighter society